

《小学生から中学生》

# 6

## ～というものは・・・だ

～ジェンダーについて考える～（自分らしさ）

### わらい

「らしさ」と、それに対する一人ひとりの気持ちに思いを巡らせ、「らしさ」にとらわれず、生き生きと生きていくことについて、思いを深める。また、自分以外の人も、自分と同じような思いを持っていることに気づき、本音で語り合う素地をつくる。

### すすめ方

学習活動と内容	留意点
<p>① 女（男）は～～でなくてはならない の方がよい であるべきだ というものだ ～～～に入る言葉を考える</p>	<p>・たとえば二人組で、班で、など、思いを出しやすい単位で話し合い、カードに書いて、黒板に掲示する。</p>
<p>②一つひとつのカードについて話し合い、同じ思いの人はいないか聞く。</p>	<p>・どんな意見も、頭ごなしに否定したりしない。あくまで、本音を出し合うことを大切にしたい。</p>
<p>③一つひとつのカードについて、肯定する事が、自分にとって、プラスになっているか、それともマイナス（ストレス）になっているか考える。</p>	<p>・全体の場で思いを交流するのがベストだが、難しければ思いを文章にして、あとで交流してもよい。</p>

- ◎ 子どもたちにとって、どんな意見も100%否定したり肯定したりはできない。ただ、友だちと本音で話し合うことで、悩みを共有し、それを乗り越える力を得、共に生き生きと生きていく社会づくりにつなげていけると考えたい。

